

## 安全に関する改善提案

記入日: 平成17年 10月 17日

(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

記入者:

| 設計・施工区分 | 工種          | 想定される事故の種類 | 想定される事故の要因 | 危険作業の種類 |
|---------|-------------|------------|------------|---------|
| 設計      | コンクリートダム堤体工 | 墜落事故       | 設計要因       | 高所作業    |

## 改善の概要:

常用洪水吐きは、一般的に呑み口部が上流面に突き出ている構造になっているため、「改善前」に示すように高足場を組むか、大型ブラケットで受ける構造となり、高所作業となる。そこで「改善後」に示すように堤体内に呑み口部を設置すれば、プレキャスト等を利用すれば堤外での高所作業はなくなる。

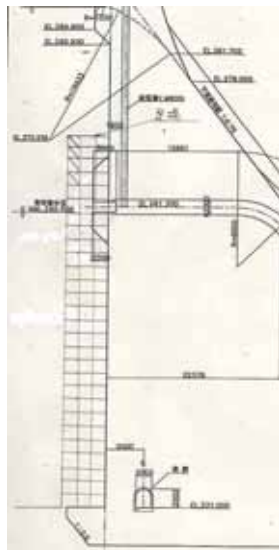
## メリット:

堤外での高所作業がなくなる。

## デメリット:

プレキャスト等を使用する場合は現場打ちよりも工事費がかかる。

## 改善前 (略図または写真)



## 改善後 (略図または写真)

ゲート修理の場合には、貯水池側からの水上施工で対応する。

